

～こども保険の保有契約件数と連動した寄付を通じ、少子化対策を支援～
「Hello! Baby 奨学金プログラム」寄付金の贈呈について

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男）は、2016年4月28日、「Hello! Baby 奨学金プログラム」の寄付金340万円を公益社団法人日本助産師会へ贈呈しました。本プログラムは、2010年の第1回から本年度で7回目となり、累計で91名分の奨学金に相当する2,942万円を贈呈しました。

本プログラムは、ひとりでも多くの助産師が誕生し、妊婦がどこにいてもより安心して安全な出産ができる環境づくりに貢献するために、公益社団法人日本助産師会が主催する「助産師をめざす人のための奨学金制度」を支援するものです。こども保険の保有契約件数に応じて、当社事業費のなかから寄付を行なっています。

なお、本活動は子どもの健全育成に向けた社会貢献活動「子どもの明日 応援プロジェクト」の一環として実施しています。

1. 寄付先

公益社団法人日本助産師会*

2. 寄付の目的

産婦人科医・産科医が年々減少しているなか、助産師不足も課題となっています。助産師は、妊婦の不安や恐怖感を和らげ、安心して分娩できるように、保健指導や分娩時の介助、育児相談などにおいて、大きな役割を果たしています。

当社は、公益社団法人日本助産師会が主催する、「助産師をめざす人のための奨学金制度」の趣旨に賛同し、奨学金支援という形で助産師不足の解消に貢献したいと考え、2010年度から本プログラムを行なっています。

3. 寄付金額

340万円（助産師学生10人分の奨学金に充当）

※こども保険の保有契約件数3万件につき、学生ひとり分の奨学金34万円を寄付
（2015年12月末のこども保険保有契約件数は307,581件）

*公益社団法人日本助産師会について

母子保健推進のため、全国の助産師の連携を図り、助産師業務の水準を維持し、その改善・向上に努めることを目的に1955年に創立された団体です。

（ホームページ <http://www.midwife.or.jp/>）

2016年4月28日 寄付金贈呈式の様子



公益社団法人日本助産師会 岡本会長（左）への目録贈呈

以 上

この春に、「助産師」の道をスタートされた方からいただいたメッセージをご紹介します。

この度は奨学金支給の機会をいただけたことを心より感謝しております。私は東日本大震災で被災し、家屋全壊、未だ家計が大変な中でした。弟2人もまだ学生であり、両親への負担が大きいことに悩んだ時もありました。そのような時に本学の担任からご紹介いただき、この奨学金をいただくことができ、授業や実習に集中して取り組むことができました。充実した時間を過ごすことができ、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

今後は妊産褥婦様、新生児そして家族にとって安心を与えられる助産師になれるよう、日々向上心を持ち、おひとりおひとりに関わっていきたいと思います。4月からはみなさまから支えていただいた御恩を忘れず、周産期医療を支える一員として、日々精進してまいりたいと思います。本当にありがとうございました。

津田 環奈

この度は奨学金支給の機会をいただけたことを心より感謝しております。私は看護学生の頃から助産師になりたいという夢を抱いていました。しかし、助産師という夢が諦めきれず、志すことを決意しました。助産師の資格取得のためには、たくさんの教材や実習費用などのお金が必要でした。私はシングルマザーで3人の子どもを育てていたため、子どもの教育費なども重なり、悩んだ時もありました。この奨学金をいただくことができたことにより大変充実した学生生活を送ることができ、学業を継続することができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

4月からは看護師として働いていた病院に勤務する予定です。助産師資格取得後も、勉学に励み、助産師学校で学んだことを基礎に日々成長していきたいと思います。今後もこのような奨学金制度を受け、助産師を志すことのできる方が増えることを心より願っております。本当にありがとうございました。

河内 亜由美

※津田様・河内様のご了承を得て全文を掲載しております